

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの平成31年度業務実績評価における評価指標等（案）に対する
分科会委員意見

1 病院部門

項目	分科会委員意見	対応（案）
1	<ul style="list-style-type: none"> ICU・CCU、SCU について、延べ患者数よりも患者実数の方が、稼働状況が分かりやすい。また、平均在室日数もあると、稼働状況がより掴める。 	「稼働率」「入室患者数」「平均在室日数」を参考値とする。
	<ul style="list-style-type: none"> 高度かつ低侵襲な治療の実施件数について、下肢静脈瘤血管内焼灼術は美容目的で実施されるものがあるなど、法人の目指す高度・低侵襲治療に必ずしも合致しないケースがあるのではないかと、という懸念がある。 	法人では、下肢静脈瘤を治療する医療上の必要性が高い患者を対象にして当該治療を行っており、法人の目指す高度・低侵襲治療に合致するものとして、参考値に位置付ける。
2	<ul style="list-style-type: none"> がん治療のアウトカム指標について、退院した患者全員を追跡するのが難しいなら追跡率を併記する、高齢患者が多く5年生存率が適さないなら患者平均年齢を併記するなどの工夫をすれば、評価指標として機能するかもしれない。 高齢者の生活の質の維持・向上という観点に即した指標を作れるとよい。 いずれにしても、がん患者について治療後にフォローアップを行うことは重要だ。 	今後の検討の参考にさせていただく。
	<ul style="list-style-type: none"> 外来化学療法について、低侵襲治療という観点から、治療の所要時間（患者の拘束時間）などを基に内訳を出せるとよい。 	今後、検討する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアのアウトカム指標について、症状の進行の抑制効果を測ることが難しいのは理解できる。そこで、ケアに要した労力（時間など）による指標を検討してみるのもよいかもしれない。 	今後の検討の参考にさせていただく。
4	<ul style="list-style-type: none"> 専門外来について、要介護度やフレイル評価を活用した共通の指標を設定できるとよい。 	今後の検討の参考にさせていただく。
	<ul style="list-style-type: none"> 合併症発症率は、病院を評価する上で重要な数字である。実績報告書の提出に間に合わないとしても、数字の振り返りはしっかりしてほしい。 	毎年10月頃に、法人のHPにおいて病院指標の1つとして合併症発症率を掲出している。引き続き公表し、数字を振り返ることができるようにする。
5	<ul style="list-style-type: none"> クリニカルパスについて、パスの見直し件数や改善率など、パスの検証状況に関する指標もあるとよい。 	「パスの見直し件数」を参考値に追加する。

2 研究部門

項目	分科会委員意見	対応（案）
10 ～11	<ul style="list-style-type: none"> 個々の研究成果について、受賞や論文発表などの実績が実績報告書に記載していると、研究成果の意義やインパクトが分かりやすい。 	法人における実績報告書の作成時に、参考にさせていただく。
12	<ul style="list-style-type: none"> プロセス評価に関する指標として、継続中の疫学研究と新規の疫学研究の件数などがあるとよいのではないか。 	コホートの規模や研究期間など、参考値の対象とする疫学研究の定義づけが困難であるため、参考値には設定しない。
13	<ul style="list-style-type: none"> 都民にとっては HP にアクセスするまでの敷居が高く、HP アクセス件数だけでは実態を捉えられないかもしれない。SNS の活用など、HP にアクセスしてもらうための工夫について今後検討していけるとよい。 	都民に対する研究成果の普及・還元の方法を考える上で参考にさせていただく。

3 経営部門

項目	分科会委員意見	対応（案）
16	<ul style="list-style-type: none"> 職員提案制度の提案件数・取組件数は、一部の職員の自律性に関する指標であって、法人全体の自律性を見るには不十分だ。定量的な情報が難しくても、定性的な情報を充実させてほしい。 	実績報告書において、法人全体の自律性に係る定性的な情報を充実させるよう努める。
	<ul style="list-style-type: none"> 都民向けの情報発信について、HP アクセス件数だけでなく、都民向け講演会の開催実績もあととよい。 	「都民向け講座等の開催実績（回数、参加者数）」を参考値に追加する。

4 その他、全体に関すること等

項目	分科会委員意見
病院	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の場合は、治療の実績だけでなく、治療法の選択など治療に至るまでのプロセスも重要である。
研究	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、チームの研究成果だけでなく、研究者 1 人 1 人のパフォーマンスを見ていくことも必要になってくるだろう。
全体	<ul style="list-style-type: none"> 実績報告書のうち定性的な情報について、取組の中身や効果が見えるように、記述を充実・工夫してほしい。